

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 93 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2023年2月1日（水）13：30～15：50

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）高橋部会長，加藤副部会長，藤原幹事，浅野，飯田，石原，井出，大間，片岡，菊池，久保，小松原，斉藤，白井，高橋(秀)，立川，藤田，柳原，山本(正)（19名）

（代理出席）中田 靖広（中部電力／久野委員代理），新崎 雅志（LLW 放射能評価分科会／高橋(浩)委員代理）（2名）

（常時参加者）田村（1名）

（欠席委員）佐々木，中島，林，山本(武)（4名）

（欠席常時参加者）桶谷（1名）

（説明者）【LLW 埋設後管理分科会】梅原幹事，千々松委員，関口委員

【LLW 埋設施設検査方法分科会】山田幹事，斉藤常時参加者

【LLW 処分安全評価分科会】竹内幹事，中居委員，山岡委員

【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】新崎幹事（9名）

（事務局）大沼，正岡，牧野，平野（4名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

#### 5 議事内容

事務局から開始時，委員 25 名中，18 名が出席しており，成立に必要な定足数（17 名以上）を満足している旨が報告された。その後，3 名が途中参加し，21 名の出席となった。

##### (1) 前回議事録（案）の確認（FTC93-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料 FTC93-1 にて，承認された。

##### (2) 人事（FTC93-2）

事務局から FTC93-2 に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の選任等が決議された。

#### 【専門部会】

##### ◆ 決議事項

##### (1) 委員再任

佐々木 隆之	京都大学	2023.05～2025.04
立川 博一	原子力安全研究協会	2023.05～2025.04
高橋 邦明	日本原子力研究開発機構	2023.06～2025.05
山本 正史	原子力環境整備促進・資金管理センター	2023.06～2025.05

##### (2) 常時参加者登録承認

田村 明男	原子力環境整備促進・資金管理センター
-------	--------------------

##### ◇ 確認事項

##### (1) 委員退任

田村 明男	元原子安全推進協会	2023.01.31
-------	-----------	------------

【分科会】

○LLW 廃棄体等製作・管理分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

前田 拓哉 関電パワーテック

○LLW 放射能評価分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

田村 明男 原子力環境整備促進・資金管理センター

○LLW 埋設後管理分科会

◇確認事項

(1)委員所属変更

関口 高志 日本原燃 → 戸田建設 2023.01.25

(3)【報告・審議】(FTC93-3-1~5)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準原案に関する標準委員会決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，LLW 埋設施設検査方法分科会 山田幹事，斉藤常時参加者)

事務局から資料に基づき，題記に関する専門部会の決議投票の結果，可決となり，賛成の委員3名から意見があったこと，また，標準委員会の決議投票の結果，可決となり，賛成の委員2名から意見があったことが報告された。引き続き，LLW埋設施設検査方法分科会 山田幹事，斉藤常時参加者から資料に基づき，意見への対応についての説明があった。審議の結果，本日の改定案は編集上の軽微な変更であるので，誤字誤記等の修正を実施のうえ，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：引用している規格については所定の年度の規格であることが重要な場合もあるが，この標準ではすべて最新版の引用で問題ないか。

A：最新版を引用することで問題無いと考えている。

Q：専門部会コメントのNo.1に関し，それぞれの「等」について明確にしてほしいという趣旨であるが，「等」は何を意味しているのか。

A：設備以外に「措置を講じた設計であること」も含むため「等」としたもの。

(4)【報告・審議】(FTC93-4-1~6)

“低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”標準改定案に関する標準委員会決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，LLW 埋設後管理分科会 梅原幹事，千々松委員，関口委員)

事務局から資料に基づき，題記に関する専門部会の決議投票の結果，可決となり，賛成の委員7名から意見があったこと，また，標準委員会の決議投票の結果，可決となり，賛成の委員2名から意見があったことが報告された。引き続き，LLW埋設後管理分科会 梅原幹事，千々松委員，関口委員から資料に基づき，意見への対応及び本報告についての説明があった。審議の結果，誤字誤記等の修正を実施のうえ，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：分科会で誤字脱字のチェックを実施中とのことだが，そのスケジュール？

A：2月中旬までに完了させ，標準委員会への上程にはチェック完了で

C：誤字脱字だけでなく，誤記，表現の適切化もチェックが必要。

(5)【報告・審議】(FTC93-5-1~4)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編：20XX”標準原案に関する標準委員会決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事，中居委員，山岡委員)

事務局から資料に基づき，題記に関する決議投票の結果，意見付き保留が1名，また賛成で1名の委員から意見があったこと，保留意見については投票期間中に賛成へ転じる意思表示があったことが報告された。引き続き，LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事，中居委員，山岡委員から資料に基づき，題記について説明があり，審議の結果，誤字誤記等の修正を実施のうえ，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：成宮委員コメントへの対応について，資料からは具体的な修正内容が読み取れないところがある。

A：1番目の意見は「意見内容」欄に元文章、「意見への対応」欄に修正後の文章がある。2番目の意見への対応は参考文献の追加のみである。

C：山本委員長長の保留コメントは重要で，学会という独立した立場で検討していることを明らかにすることが必要である。

(6)【報告・審議】(FTC93-6-1~3)

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX—ドラム缶形態編—”の誤記チェックの結果について

(担当：LLW 廃棄体等製作・管理分科会 新崎幹事)

LLW 廃棄体等製作・管理分科会 新崎幹事から資料に基づき，転載許諾に係るコメント対応及び出典名記載に係る誤記チェックについて説明があり，審議の結果，この修正内容について承認し，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：誤記修正について，新旧比較表にしているが，この資料形態で良いか。

A：今回の修正内容は標準委員会審議細則における誤字脱字の修正の範疇であり，問題ない。専門部会にて承認し，標準委員会へは報告のみとなる。

(7)【報告・審議】(FTC93-7-1~2)

標準策定5か年計画の更新について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 藤原幹事)

藤原幹事から，資料に基づき説明があり，審議の結果，会議でのコメントを反映させたうえで，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：標準の廃止を検討するとのことだが，電事連から廃止の提案があり，分科会で検討するという理解で良いか。

A：そのとおりである。

Q：定型的な改定対応でなく，メリハリを付けるということと思う。単純に廃止するというだけでなく，休眠のような対応もありうるのではないか。

A：そのとおりであり，廃止を前提とするものではない。電事連が言ったからということではなく，学会として分科会としてどうするかを幅広く考えてほしい。

Q：ウラン施設のクリアランスについては，改定の検討状況はタイムリーに専門部会に上がってくるか。

A：分科会で検討して，適宜，専門部会へ情報を報告する。

Q：IAEAのRS-G-1.7の改訂版が発行されるとの説明があったが，そういった情報をこの5か年計画の海外情報のところに書き込んだ方が良いのではないか。

A：追記は可能である。

- C：立川委員からの情報を踏まえて、藤原幹事にて追記してほしい。  
Q：各標準の制定プロセスにおいて、中間報告の実施／非実施についてルールはあるか。  
A：中間報告は必須とはしておらず、分科会にて必要に応じて実施を判断していただきたい。

(8)【報告】(FTC93-8)

倫理教育の受講実績について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 藤原幹事)

藤原幹事から、資料に基づき倫理教育の受講実績と来年度の予定について説明があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：毎年、倫理教育を繰り返し実施し、倫理についてリフレッシュしていくことが重要である。

(9)【報告】(FTC93-9)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から資料に基づき、分科会の活動状況についての報告があった。

6. その他

(1) 標準委員会規則類の制改定

事務局から、「専門部会等幹事業務、並びに事務局業務マニュアル」の制定、「標準委員会審議細則」の改定が紹介された。

(2) 今後の予定

次回は、2023年5月10日(水)13:30からの開催に決定した。

なお、今回の専門部会においては、任期満了に伴う部会長の互選を実施する予定である。

【配付資料】

- FTC93-0 第93回原子燃料サイクル専門部会議事次第  
FTC93-1 第92回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)  
FTC93-2 人事について  
FTC93-3-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準原案に関する当専門部会決議投票(再投票)の結果について  
FTC93-3-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準原案に関する標準委員会決議投票の結果について  
FTC93-3-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準原案に関する当専門部会決議投票(再投票)及び標準委員会決議投票で受け付けた意見への対応について  
FTC93-3-4 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準原案専門部会再投票コメント等変更箇所  
FTC93-3-5 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法—浅地中処分編：20XX”標準改定案  
FTC93-4-1 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”標準改定案に関する当専門部会決議投票(再投票)の結果について  
FTC93-4-2 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”標準改定案に関する標準委員会決議投票の結果について  
FTC93-4-3 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”標準改定案に関する概要説明

- FTC93-4-4 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”  
標準改定案に関する標準委員会決議投票で受け付けた意見への対応について
- FTC93-4-5 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”  
標準改定案に関する標準委員会決議投票で受け付けた意見対応に伴う改定前後比較
- FTC93-4-6 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る埋戻しの方法及び施設の管理方法—中深度処分編：20XX”  
標準改定案
- FTC93-5-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編：20XX”  
標準原案に関する決議投票【SC22-13】の結果について
- FTC93-5-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編：20XX”  
標準原案に関する標準委員会決議投票の結果及び意見への対応について
- FTC93-5-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編：20XX”  
標準原案に関する標準委員会決議投票結果への対応整理表
- FTC93-5-4 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編：20XX”  
改定案
- FTC93-6-1 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX—ドラム缶形態編—”の  
誤記チェックの結果について
- FTC93-6-2 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX—ドラム缶形態編—”の  
新旧比較表
- FTC93-6-3 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX—ドラム缶形態編—”  
標準改定案
- FTC93-7-1 原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画（2023年度版）
- FTC93-7-2 新知見の概要（各委員から提案された事案）
- FTC93-8 原子燃料サイクル専門部会・分科会 倫理教育の受講実績について
- FTC93-9 分科会活動状況報告

#### 参考資料

- FTC93-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC93-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

以上